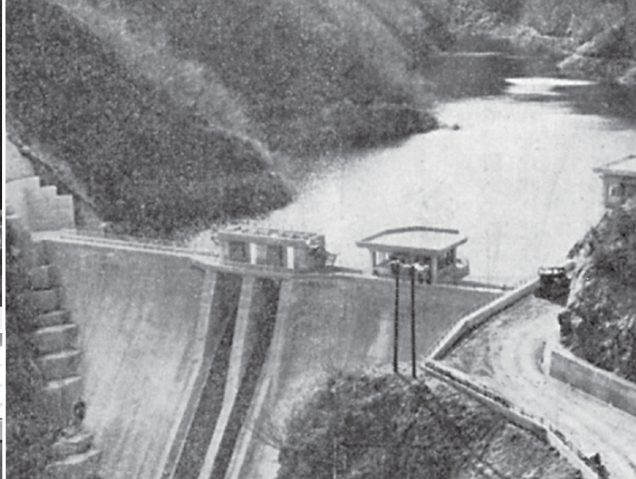




1974

昭和49年

誕生期

桑折町が誕生。施設整備が進み、
広域行政サービスもスタート

昭和30年

1955

- 1965 昭和40年
1月 ● 桑折町章制定
9月 ● 桑折町・伊達町・国見町の3町で、土木機械運営協議会発足
- 1966 昭和41年
3月 ● 藤倉ダム工事完成
- 1967 昭和42年
1月 ● 桑折町・伊達町・国見町消防常備部開所、業務開始
4月 ● 半田醸造幼稚園を設置
11月 ● 桑折町体育協会設立
11月 ● 内之馬場浄水場完成
- 1968 昭和43年
1月 ● 桑折町・伊達町・国見町学校給食センター完成、学校給食開始
4月 ● 陸合・伊達幼稚園を設置
- 1969 昭和44年
3月 ● 町文化財保護条例制定
5月 ● 史跡「高館城の礎」建設
公立藤田総合病院新築落成
- 1970 昭和45年
1月 ● 醸芳小学校校舎改築工事完成
11月 ● 初の町表彰式開催
- 1971 昭和46年
3月 ● 桑折醸芳高等学校が閉校、県立農蚕高等学校に統合
9月 ● 東北縦貫自動車道建設工事町内常備部開所
4月 ● 伊達地方消防組合発足、3町消防常備部開所
9月 ● 火葬場協議会発足
9月 ● 福祉センター利用開始
- 1973 昭和48年
5月 ● 町民運動場利用開始
- 1974 昭和49年
3月 ● 「旧伊達郡役所」県重要文化財に指定
5月 ● 町民体育館利用開始

- 1955 昭和30年
1月 ● 旧桑折町・陸合村・伊達崎村・半田村が合併、新生桑折町誕生
2月 ● 合併後の町長選挙、初代町長に早田傳之助氏就任
3月 ● 国保直営診療所開設(下郡)
10月 ● 町議会議員選挙、旧町村から選出する方法で実施
- 1956 昭和31年
3月 ● 旧3村の村役場出張所が廃止
- 1957 昭和32年
7月 ● 国道4号建設工事開始
11月 ● 役場庁舎完成、移転、新庁舎で職務開始
- 1958 昭和33年
4月 ● 桑折醸芳高等学校設置
- 1959 昭和34年
2月 ● 2代目町長に六戸勇吉氏就任
10月 ● 町議会議員選挙、大選挙区制で実施
- 1960 昭和35年
7月 ● 伊達地方衛生処理組合設置
- 1961 昭和36年
1月 ● 国道4号町内全線開通
4月 ● 陸合・伊達崎・醸芳中学校を統合、新醸芳中学校となる
9月 ● 広報こおり第1号発行
11月 ● 醸芳中学校校舎増築工事完成
- 1962 昭和37年
4月 ● 農業構造改善事業ほ場整備開始
- 1963 昭和38年
4月 ● 町内小中学校にミルク給食設備設置
9月 ● 砂子沢揚水場完成
- 1964 昭和39年
3月 ● 町内農協合併、桑折町農業協同組合発足

民主政治を行うのに必要なのは、町民の理解と信頼を得るため、昭和36年に「広報こおり」第1号が発行されました。当時の桑折町長は「町と町民各位を結びつけ、各位の批判をいただき、親しみのある広報紙に育てたい」と思うので、絶大な「ご支援とご協力」をいただき、「新しい広報媒体に期待を持って広報発行のあいさつを寄せていました。その意志は継続され、現在まで500号を超える発行回数を重ねています。そして今では町と町民、そして町民同士の意志の疎通、「コミュニケーション」を図る上で欠かせない媒体に成長しています。



広報紙の創刊
町と町民の架け橋
〔昭和36年9月〕

あの日あの時

昭和30年、桑折町・陸合村・伊達崎村・半田村の4村が合併、新桑折町が誕生し、町はその喜びにあふれました。ここからの10年間、新役場庁舎が完成し、教育・消防・道路・橋梁・住宅などの施設に要した費用は、3億410万円に達しており、事業が順調に進行していきました。そこには、誕生後、一歩一歩着実に歩んできた桑折町の姿がありました。

町では、町章が昭和40年の合併10周年記念事業として、応募総数453点の中から選ばれました。町のシンボルマークが決まり、新たな一歩を踏み出しました。また昭和49年までには桑折町・伊達町・国見町の3町で様々な協議会が発足し、近隣町と広域的な協力のもとでの住民サービスがスタートしました。

着実な歩みとともに
町が順調に成長